

走水小学校保護者説明会 会議録

1 日 時 令和6年(2024年)7月27日(土)10:00~11:15

2 場 所 走水小学校 理科室

3 参加者 8名

4 事務局等 教育総務部 部長 古谷 久乃
教育政策課 課長 飯田 達也
教育政策課 主査 大堀 圭輔
教育政策課 主任 志村 洸哉
教育政策課 担当者 松本 勇人

5 議事内容

○飯田教育政策課長(事務局)

定刻となりましたので、走水小学校保護者説明会を始めます。

1月11日の統合決定後、通学の安全対策について、詳細をご説明できずにおりました、皆さまには、不安な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。

本日は、主に通学の安全対策について、ご説明をしたいと思っております。

また、6月16日付けで、走水小学校PTA、町内会、想う会から要望をいただいておりますので、その回答も併せて、ご説明します。

ご説明した後にご意見等を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

ご説明の前に確認をしますが、会議録作成のために録音します。

また、会議録等はホームページにて公表します。

それでは、資料のご説明をします。

○大堀教育政策課主査(事務局)

それでは資料のご説明をします。

資料の4ページをお開きください。

通学の安全対策についての概要です。

1について、京急バスの通学定期券代の全額助成を行います。

助成対象者は、現走水小学校区の全児童と1・2年生及び特別支援学級の保護者のうち、付き添いを希望する方です。

助成期間は、統合後12年間、令和7年度から令和18年度です。

なお、市内には、すでに通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後、全市の遠距離通学に対する方策を検討します。

助成期間終了後は、この方策を適用する予定です。

2のバス停における児童の見守りについては、バス停に見守りを配置し、児童が安全に

バスを待てるようにします。

3のバス車内における対策については、バス車内で痴漢等の対策や抑止力のため、児童への防犯ブザーを配布します。

次に5ページをご覧ください。

路線バスを利用する理由についてです。

本市においては、京急バスの交通網が整備されており、長きに渡り本市における路線バスの安全で安定した運行実績があることから、児童が安全に通学できると考えています。

京急バスの運転手は、事故や災害時等の訓練を行っているため、有事に適切な対応が見込まれ、児童が毎日利用するための安全と安心を担保できると考えています。

スクールバスの場合、下校のバス時間が決まっていることから、児童に個別の指導を行い下校を遅らせることや、例えば、委員会活動、総合的学習の発表準備、球技大会の練習など、児童の自発的な活動が制約を受ける場合があります。

また、路線バスであれば乗り遅れや早退遅刻等にも対応できると考えています。

今後も安定的で持続可能な仕組みとするためには、公共交通機関である京急バスが運営する路線バスを活用することが望ましいと考えています。

次に7ページをお開きください。

登校時の対応についてご説明します。

続けて8ページをお開きください。

こちらの表は、バス停ごとの利用児童数の想定です。

居住地からの距離で、利用するバス停を想定しています。

ラビスタ、南谷戸、走水神社、走水上町、走水小学校、伊勢町の6か所が登校時に利用するバス停と考えられます。

現状では、ラビスタは20人、南谷戸は1人、走水上町は1人、走水小学校は1人、伊勢町は3人の想定です。

地図上で振り分けていますので、ラビスタと南谷戸等は分散される可能性もあります。

次に9ページをご覧ください。

登校の対応について、現行では、8時20分までに馬堀小学校に登校するため、8時10分頃までに馬堀中学のバス停に到着するバスが必要となります。

これは、令和6年度の日課ベースです。

バスダイヤ1本の時間変更を含めて、2本のバスが登校に利用できるバスと思われません。

バス定員は70人ですが、乗車可能人数は50人程度で想定しています。

次に10ページをお開きください。

登校時のバスの時刻表です。

京急バスと調整の結果、登校時間の馬堀中学校8時17分着を8時12分着に時間変更していただきますので、7時52分着と8時12分着の2本分で登校する想定をしています。

注釈について、増便時刻案は2024年6月現在のダイヤを基に作成したもので、この時間で確定したものではありません。

今後、ダイヤ改正が行われる場合には、この案をベースに京急バスと協議を行います。

よって、時間設定は今後、変更される場合もあります。

次に11ページをお開きください。

下校時の対応についてです。

続けて、12 ページをお開きください。

馬堀小学校から3校時下校は11時45分頃、4校時下校は13時15分頃、5校時下校は14時50分頃、6校時下校は15時30分頃に利用できるバスが必要となります。

バス定員は70人ですが、乗車可能数は50人程度で想定しています。

馬堀中学バス停で待っている間の交通整理や、安全確保のため、見守り人を配置します。

下校時は、学年ごと等で下校時間が分散されるため、既存のバスダイヤで対応が可能と想定しています。

13 ページをご覧ください。

それぞれの下校時刻に合わせて、既存のダイヤで対応が可能であると考えています。

14 ページをお開きください。

馬堀中学バス停の状況です。

こちらに並んでいただき、見守りの方を配置して整列等を行っていただきます。

15 ページをご覧ください。

走水小学校のPTAから、「通学の安全確保に関する要望書」を受け取っていますので、その回答です。

16 ページをご覧ください。

スクールバスの要望に関してです。

問1、スクールバスの導入について。

答1、京急バスを利用させていただくことから、スクールバスの運行は行いません。

本市においては、京急バスの交通網が整備されており、長きに渡り本市における路線バスの安全で安定した運行実績があり、児童が毎日利用するための安全と安心を担保でき、災害時等においても適切に対応することができることが理由です。

今後も安定的で持続可能な仕組みとするためには、公共交通機関である京急バスが運営する路線バスを活用することが望ましいと考えています。

17 ページをご覧ください。

路線バスになった場合のご要望です。

問1、登校時、全児童が席に座って乗車可能な増便について。

答1、現在のバスの利用状況を踏まえて、1本で全児童が乗り切れると見込んでいますが、バスダイヤの変更により、登校時2本のバスが利用できるようになります。

路線バスを利用させていただくため、全員が座って通学することは困難と考えていますが、通学における安全教育について、学校と連携して検討します。

問2、下校時間ごとの増便について。

答2、下校時は学年ごとに下校時間が異なり分散されることから、現在のダイヤで乗り切れると想定しています。

18 ページをご覧ください。

問3、バス位置情報の電光掲示板について。

答3、電光掲示板の設置については、現在のバス停に電気が通っていないため、設置は困難と思われます。

なお、先に開催した合同学校運営協議会において、設置不可であった場合はスマートフ

オン等で確認できる京急バス接近情報でバスの状況を確認し、学校から児童に周知していただくといった代案も考えられるというご意見がありましたので、今後検討したいと思います。

19 ページをお開きください。

問4、バス停の屋根の設置について。

答4、バス停の屋根設置には、原則歩道幅が最低でも2m確保できることが目安になり、歩道の幅員が確保できないことから、設置は困難と思われます。

なお、合同学校運営協議会において、設置不可であった場合には学校の昇降口等、屋根がある場所でバスの時間まで待機させるといった代替案が考えられるというご意見がありましたので、検討したいと思います。

20 ページをご覧ください。

問5、見守りボランティア、信号機設置場所について。

答5、混雑が想定される馬堀中学バス停付近の見守りについては、教育委員会で人員の配置を予定しています。

信号機の設置場所については、伊勢町の横断歩道、走水神社の横断歩道に設置のご要望をいただいております。

警察に確認したところ、現地確認や検討をした結果、設置は不可という回答をいただいております。

なお、合同学校運営協議会において、引き続き信号設置に向けた要請をお願いする旨のご意見がありましたので、働きかけたいと思います。

21 ページをご覧ください。

問6、バス利用者が増えた際、路線バス増便だけでは対策にならないことについて。

答6、バス混雑が予想される際には、児童が通学にバスを利用している状況も考慮し、イベント主催者等と調整、検討してまいります。

問7、通学費用の全額支給について。

答7、通学費用については、現在、走水小学校区から馬堀小へ通学している児童も含めて、全額支給させていただきます。

22 ページをお開きください。

問8、歩いて通学する可能性があることから、防犯カメラの設置、ガードレールの設置、樹木の伐採について。

答8、従来から歩いて通学することは危険というご意見をいただいたことから、通学における安全対策として、全額助成をした上で路線バスを利用して通学していただくことを想定しています。

道路等への防犯カメラの設置は、町内会等が設置する場合に補助を行っておりますので、そちらをご活用いただければと思います。

ガードレール、樹木伐採は具体的な場所を伺った後、対応を検討します。

問9、強風時、歩道に海水がしぶきをあげることについて。

答9、こちらについても歩いて通学することは危険というご意見をいただいたことから、路線バスで通学していただくことを想定しています。

なお、港湾部に確認したところ、現時点では、越波対策の計画はございません。

23 ページをご覧ください。

その他です。

問、教員へ通学手段についてのアンケート実施について。

答、検討に当たっては両校の学校長とは綿密に連携を図って方策を検討してまいりますので、教員へのアンケートは実施いたしません。

26 ページをご覧ください。

以前の保護者説明会でご要望があった、現在走水小学校区からバス等を使って馬堀小学校へ通学している方への通学に関するアンケート結果です。

ご意見と教育委員会の見解をお伝えします。

走水小学校区から通っている児童はバスで通学しており、定期代が負担と感じている、というご意見です。

教育委員会の見解としては、通学費用については、現在、走水小学校区から馬堀小へ通学している児童も含めて、全額支給させていただきます。

横断歩道に信号がないため、危険を感じる。車もなかなかとまってくれない、というご意見です。

教育委員会の見解としては、警察に確認したところ、現地確認や検討をした結果、設置は不可という回答をいただいております。

27 ページをご覧ください。

通学に適したバスの本数が少ない、朝だけでも通学用のバスを出して頂けるとありがたい、現走水小児童が馬堀小に通うようになった時、バス停や車内の混雑が心配、バスの本数が増えれば多少緩和されると思う、というご意見です。

教育委員会の見解としては、京急バスと調整の結果、登校時間帯 1 本の時間変更をしていただけることとなりました。

その結果、登校に馬堀中学バス停に到着するバスが 2 本利用できると思われれます。

下校時は学年ごとに下校時間が異なり分散されることから、現在のダイヤで対応できると想定しています。

帰宅時のバスの本数が少ないことから歩いて帰宅する場合があります、交通事故や事件が心配、というご意見です。

教育委員会の見解としては、歩いて通学することは危険というご意見をいただいたことから、通学における安全対策として、全額助成をした上で路線バスを利用して通学していただくことを想定しています。

28 ページをご覧ください。

馬堀中学のバス停に屋根はないため、暑い時期は熱中症が心配、というご意見です。

教育委員会の見解としては、バス停の屋根設置には、原則歩道幅が最低でも 2 m 確保できることが目安になり、歩道の幅員が確保できないことから、設置は困難と思われれます。

帰りのバスの乗り間違いを防ぐため、馬堀中学のバス停に見守りの方がいると良い、というご意見です。

教育委員会の見解としては、混雑が想定されるバス停付近には見守りを配置しますので、バス停での待機、乗車を安全に行えるようにします。

登校は中学生がいて降りる場所が同じなので、降り忘れとかの不安はない、下校は、横須賀美術館でジブリ展をやっていた際は人が多く、バスが満員に近い状態で子どもを 1 人乗せるのは色々な人がいるので抵抗がある、というご意見です。

教育委員会の見解としては、下校時は学年ごとに下校時間が異なり分散されることから、現在のダイヤで対応できると想定していますが、イベント等によりバス混雑が予想される際には、児童が通学にバスを利用している状況も考慮し、イベント主催者等と相談してまいります。

29 ページをご覧ください。

災害発生時の対応についてです。

30 ページ以降にその内容が記載されています。

保護者説明会においても、災害等があった際の対応がどうなるのか、今までよりも通学距離が遠くなることからご心配がありました。

資料には、全教職員が持っている「指導の必携」というものから抜粋した内容が記載されており、基本的には記載の内容で各学校が対応することになります。

例えば、震災時の対応については 32 ページにあります。

登下校時や放課後で学校内にいる場合であれば、まず安全確保を行います。

児童生徒の保護と安否確認を行い、被害状況の確認、災害情報の収集を行います。

その後、校内や通学路の巡視及び自宅確認をする教職員に別れます。

そして、被害状況を市教委へ報告、保護者へ連絡、保護者へ引き渡しという対応です。

保護者と連絡がつかない場合は、学校で保護します。

災害時の対応については、このようになります。

最後に、学校名についてです。

36 ページをご覧ください。

経過としましては、4月26日～5月31日の期間、学校名の応募を実施し、184件の申し込み、71の学校名候補の応募があった中で、合同学校運営協議会で、学校名候補が17候補にまで絞っていただきました。

今後、8月8日の教育委員会8月定例会において、学校名が1つに決定します。

決定された内容に基づいて、横須賀市議会9月定例議会において学校設置条例の改正を行う予定です。

37 ページについては、合同学校運営協議会委員において絞っていただいた17候補について、保護者の皆さまにもご紹介したいと思います。

以上で資料の説明を終わります。

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、ご意見、ご質問等お願いいたします。

○参加者

見守りについて、教育委員会で人員の配置を予定しているということですが、見守りに立つ方というのは保護者なのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

資料で説明している見守りの配置については、地域にお願いするということではなく、業者の方に委託します。

○参加者

今も馬堀中学のバス停のところに、下校の時間になるとボランティアの方が立ってらっしゃると思いますが、それとは別の話で業者の方に立っていただけるということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

○参加者

スクールバスを出してもらえないことはとても残念で、保護者としては不安が募ります。スクールバスの方が学校の中まで送迎してもらえるとと思っていたので、その方が安全だと思っていました。

100%の安全は無理だと思いますが、スクールバスを出せないというのであれば保護者の方が少しでも納得できるような対策にしてほしいと思います。

見守りの方を業者委託してくださるということですが、それは毎日同じ方ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

決まっていません。

○参加者

誰が乗ったかということまで分かってくだされれば良いと思います。

保護者としては歩いて帰ってしまうのではないかというのが不安なので、子どもの顔が分かるのが理想です。

学校が終わってから一つの教室に集まり、そこからみんなでバス停まで行って、乗ったところまで確認していただけたら一番良いと思います。

14 ページの停留所の、この赤い四角に並ぶということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

想定としてはこの辺りに並ぶイメージです。

○参加者

現在、歩道橋の下で待っていたり、階段で座って待っていたりします。

小学生と中学生が重なるときもあるので、人数が多くなると思います。

歩道橋の下は車線が多く、万が一車が突っ込んできたらという恐怖があるので、できれば、建物側の方が多少離れていると思います。

みんなでバス停まで行ってもらえるのが理想です。

下の子が一年生で、2，3人で帰ってきます。

ただ、他の子に迎えがあったりすると1人で歩いて帰ってくる場合があります。

一年生が1人では不安なことが多いと思うので、学校で解散するよりはバス停まで一緒に行ってくれた方が、保護者も安心だと思います。

バスが2本ということですが、立って乗ると荷物で両手がふさがっているときにちゃんとつかまれるのか、急ブレーキをかける方が多いと聞くので怖いです。

そのようなことも考えていただけたらと思います。

バス停の屋根は、記憶が曖昧ですが、今まであったと思います。

南谷戸や歩道橋のところにあったと思うので、設置できなくはないのではないかと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それは歩道にありましたか。

例えばラビスタは、歩道ではなく中に入ったところに屋根があります。

今ない場所に以前あったとして、その形態が分かりません。

○参加者

付けられるなら付けていただきたいです。

ラビスタで乗る子どもは1人で、みんな南谷戸で乗ると思います。

歩道に並んで待っているというよりは、砂利のあるところで待っています。

誰の敷地かわかりませんが、子どもたちは石を蹴ったりしているので、教育委員会で待機場所を決めていただいた方が良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

今回ご提示しているのは、これまでにいただいているご心配やご不安に対する回答であり、ベースとなるものです。

我々が気付かない部分等もあると思いますので、今後も引き続き積み上げていき、子どもの安全対策をとっていければと思いますので、ご意見をいただければと考えています。

○参加者

これで決定ではないのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ベースは決定です。

ただ、教育委員会では気付かない細かい部分もあるので、そこについてはどのような対応が考えられるのか検討していきます。

例えば、電光掲示板については教育委員会で確認した限り設置はできませんでした。

しかし、スマートフォン等でバスの状況を調べられるものがあるといったことや、屋根が付けられないのであればバスの時間ぎりぎりまで学校で待たせる、といったようないろいろな対応策が考えられると思います。

そういったものを積み上げていくイメージです。

○参加者

それはいつまで行うのでしょうか。

例えば屋根を付けた場合には時間がかかるので、早く決めなければいけないこともあると思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

現状、屋根は難しいと思います。

○参加者

全体的に、最終的な決定はいつ頃なのでしょう。

○大堀教育政策課主査（事務局）

統合した後も出てくるかもしれませんので、ずっと続く形です。

ただ、予算等の話もありますので、大体の方向性は秋頃までに作りたいと考えています。

○参加者

4月1日に安全でスタートしてほしいので、始まってからあれこれやるのではなく、いろいろやってから4月1日のスタートをしてほしいです。

次に私たちが意見を言う場所はいつですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

今いただいているご意見に対する回答というのは、順次作っていかねばいけないと思っています。

次の説明会等は未定ですが、一定程度まとまったお答えが出せるようになったら、改めて開催したいと考えています。

○参加者

できれば、今までのようにメールをくださいといったものではなく、このように開催してもらった方がよいと思います。

ホームページに載せていますとか、メールや電話で受け付けていますと言っていたが、それではなかなか言いづらいです。

このように直接言えた方がよいと思います。

子どもの通学は毎日のことなので、保護者の方も本日はすごく少ないですが、時間を作ってこのようにできたらよいと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

説明会としてはこのような形で開催するのがよろしいと思いますが、ご意見は常に受け付けているという意味で、これまでそのような説明をしてきました。

このような会を開かないと意見を聞かないということではなく、メール等でも常に受け付けているという意味です。

そこは誤解のないようにお願いします。

○参加者

ベースの決定事項というのは、スクールバスではなく、京急バスで全額支給していただくということが完全に決定事項ということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

○参加者

助成というのは前もって出るということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

支給方法については調整が必要ですが、お金を支給するのではなく、教育委員会から証明書を発行し、証明書を持って京急バスの営業所で定期券と引き換えるという流れを想定しています。

○参加者

引き換えるのも大変です。

堀ノ内の営業所がなくなって、横須賀中央か衣笠に行かなければいけません。

車を持っていない方が行くとなると負担になると思います。

1か月ごとの支給では毎月行かなければならず、半年や1年分の定期券にさせていただかないと定期券を買うのがすごく大変です。

○大堀教育政策課主査（事務局）

1年分というのはできないようなので、6か月という想定をしています。

○参加者

総合後12年間の支給となっていますが、この支給がある以上は、下校時間についてはバスが確保されるという約束の基で京急バスを使うということによろしいのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

下校時間については既存のバスの時間帯で対応できると考えています。

○参加者

運転手不足でバスが減らされていると思います。

12年間は、この時間は確実に保障されるということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

京急バスのダイヤの改正に関わる話なので、保障されるということではないです。

○参加者

減便等があった場合には対策してくださるということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

今回は登校時間についてバスの時間変更をしていますし、そういった場合にはその時点で改めて京急バスとの調整になると思います。

○参加者

馬堀中学バス停の下校時ですが、中学生が並んでいるのをご確認いただいたことはありますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

利用していることは認識しています。

○参加者

並んでいるとき、近くの公園に荷物を置いて遊んでいます。

それに小学生が混ざらない保障もないですし、中学生がやっているのに何故小学生はやってはいけないのかという話にもなると思います。

1人の方が見守りに立ったところで、中学生と小学生を全員掌握できるとは思いません。

自衛隊の官舎から苦情が来るということも考えられると思いますが、そちらの対応は教育委員会でごさってくださいのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

学校や家庭等での指導になると思いますので、そこは行儀良く並んでいただくということだと思います。

見守りについては小学生を対象としていますので、まずは走水小学校区の小学生が安全にバスを待っているというような想定で配置します。

ご了承いただければと思います。

○参加者

中学の先生に伝えていただくことはできますよね。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのような懸念があれば指導という話になると思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

今回の話については当該校の校長先生だけではなく、馬堀中学校の校長先生にも入っていただいています。

こういったご意見をいただいているということも含めて相談します。

やはり下校時が一番心配だと思います。

先日行われた合同学校運営協議会でもいろいろなご意見をいただいていますので、運用面やどういったことができるのかについては検討していきます。

ご意見等いただければと思いますので、よろしく申し上げます。

○参加者

下校時にバスを降りるとき、一年生や二年生では自分の降りるバス停を確実に覚えていないこともあると思います。

運転手から声をかけていただくことは可能ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

現実的に、どの子がどこで降りるのか把握するのは難しいと思います。

事前に練習などをしていただくことだと思います。

○参加者

特定の子に対してだけでなく、どこに着いた、降りる人はいないか、といった声掛けをしていただくことはできますか。

○古谷教育総務部長（事務局）

京急バス自身も、バスを運行する者として、お子さんをきちんと安全に運ばなければいけないという責務があるとおっしゃってくれています。

新たに小学生が多く乗る路線になるわけですので、京急バスの営業所でも気を遣ってやっていただくようお願いします。

また、京急バス自身もお子さんを乗せているということで、急停車や急ブレーキということにも気をつけていただきながら、安全な運行を心がけていくものと思っています。

配慮していただけるようお願いしたいと思います。

○参加者

降り間違えて歩いている子を見たという方もいらっしゃるのですが、乗せたから終わりではなく、乗るときに見守りの方から降りる場所を間違えないよう一声かけていただくなどしてほしいです。

ジブリ展のときは一番奥にいた小学生が大人をかき分けて降りるのも大変でしたし、皆さまが親切なら良いですがそのようなわけでもなく、ベビーカーに文句を言う方もいらっしゃいます。

そのようなバスに子どもたちが乗らなければいけないという不安は分かっていたらと思います。

○参加者

信号機は付けられないということですが、要請しても付かなかった場合はどうなるでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

見守りの配置等を検討しなければならないと思います。

○参加者

その見守りは地域ですか。
馬堀中学バス停のような方ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

基本的には地域でお願いできればとは思いますが、今後の検討になると思います。

○参加者

保護者も働いている方が多いです。
地域の方も、現在3，4名いますが、その方々もいつまでもできるか分らないです。
地域のボランティアをあてにしてほしくはないと思っています。
車が多くてスピードを出すので、大人が渡っても怖いぐらいです。
設置不可でしたという答えではなく、その先を考えていただきたいと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

信号機の件については先日の合同学校運営協議会でも一番多くご意見をいただきました。
今回、教育委員会から警察にお話をして、警察も現場を見に行ったようですが、その上で基準に照らし、設置ができないというご回答をいただいています。
ただ、それだけで済ませるのではなく、改めて状況をお伝えして要請してほしいというお話がありましたので、教育委員会も含めて警察に改めて要請したいと思います。
また、それがかなわなかった場合、今は見守りできるかもしれないが、未来永劫できるかという難しいというお話もいただいています。
その際の対応はまた検討したいと思います。

○参加者

馬堀小学校の説明会は同じ内容ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

同じ説明です。

○参加者

幼稚園などでは、入退室の際に二次元コードを読み込むと保護者にメールが届くようなアプリを利用しているところが増えています。
そのように、学校から出てバスに乗っていることなどを保護者が分かるようなものを導入するという事は難しいですか。

○参加者

見守りの方が持っていて、待っている間にバス停にいる児童を把握して乗るときに読み込むといったことができないでしょうか。
そのようにすれば、子どもが何時のバスに乗ったのか分かると思います。

○参加者

下校時は時間も違いますし、兄弟と一緒に帰ってくるように言っても、学校で待っていないように言われたらそれまでです。

下校時にバスに乗ったことが分かったり、下校したことが分かれば何時のバスに乗るだろうと把握できて、それに乗ってこなければおかしいと思えます。

スクールバスが出ないと決まっているのであれば、何か保護者が確認できるようなものがあれば安全性、確実性の面でうれしいと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

この場でやるかやらないかというのはお答えできないので、ご要望としてお預かりしたいと思います。

○参加者

走水小学校は下校時間が決まっています、学校に残ってなにかするということがほとんどないと思います。

他の学校は個別指導や委員会で遅くなることがありますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

横須賀市立小中学校適正配置審議会において教員の代表からいただいた話なので、市内ではそのような活動をされている学校もあると認識しています。

○岡本走水小学校教頭

馬堀小学校では残り勉強などをやっていることもあると聞いています。

ただ、来年度以降どうするかは相談しているところです。

○参加者

残ることがあるのであれば、見守りの人はそこまでやってくれますか。

学校に残っている子が帰るのを見送るまでやってくれるのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

契約になるので、単発でその日だけ時間を延ばすといったことは難しいかもしれません。

ただ、下校時間ちょうどに配置するのではなく、前後に余裕を持った配置時間にできるよう契約しようと考えています。

○参加者

学校で、走水の子はバスの時間に合わせた活動にするよう対応してもらえるのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

残らせるとしても、対応するバスを想定した上でその時間までという話になると思います。

○参加者

通学路は、家からバス停まで、バスを降りてから学校までになり、帰りは学校を出て歩道橋を渡ってバス停から、バスを降りてから家まで、ということになりますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そうなると思います。

○参加者

定期券の種類には、特定の区間しか使えないものと、全区間で使えるものがあると思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

子ども用の定期券は決まっています。

どこでも乗れるものになります。

保護者は大人なので、金額に応じて区間のみ利用できるものです。

○参加者

保護者が定期券をもらったとして、毎日行かなくても大丈夫ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

もらったからといって毎日行かなくても大丈夫です。

○参加者

見守りの人というのは、あくまでも交通整理を行うための人員ですか。

バスに安全に乗るまででしょうか。

学校側からバス停に渡ってくるまでの安全がほしいです。

そのようなことも危険として挙げられていたと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

基本的には交通整理です。

安全確保のため、歩行者や自転車が通るバス停付近を安全に整列させ、整理することです。

○参加者

バスが来そうなときに走ってくるといったことは見守ってくれないということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

常識の範囲内で指導はされると思います。

○参加者

バスが来ていたら大人だって渡ってしまいます。
大人が渡っていたら子どもも渡ります。
そのようなときに注意できるよう、逆側にも立てることは可能ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

渡る、というのは歩道橋を通らずに車道を渡るということですか。

○参加者

そうです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それは指導の話になります。

○参加者

その指導を見守り人がやってくれますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

あくまでもバス停周りの安全性を確保するためと考えています。

○参加者

交通整理ではなく、ちゃんとバスに乗るのを確認してほしいです。
通学路はバスに乗るので、乗って帰るよう言ったとしても、子どもなので歩いて帰ってしまう場合はあると思います。
それを阻止するには、大人と一緒にバス停についてって、乗ったのを確認すれ必要があります。
そこまでやっていただけたら安心できると思います

○大堀教育政策課主査（事務局）

今回の統合に伴って新たに発生する通学路についての対応を検討しているので、バス停周りの整理が必要だと思っています。
現在も歩道橋を帰る方もいますし、バスに乗って帰る方もいます。
既存の通学路に関して対応ができるかというところは分かりませんが、要望としていただきたいと思います。

○参加者

安全にやっていただかないと走水に若い方が済まなくなり、町内も廃れてしまいます。
バスに乗るまで確認していただけたら安心だと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

本日いただいたご意見については改めて整理したいと思いますし、これからもこういっ

たお話をさせていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

以上で本日の説明会を終了します。

ありがとうございました。